



機能訓練室



リハビリの様子

園芸活動の様子

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、平成 28 年 9 月に高齢者複合施設「カーサ岩沼」として誕生し，“御利用者様にとって居心地の良い場所”をコンセプトに日々努めています。
- ・自然体でくつろげる空間を提供できるよう、スタッフだけでなく御利用者様とともに作り上げていくことを心掛けています。
- ・平成 29 年 4 月から理学療法士を配置し、個別機能訓練にも力を入れています。
- ・外出やボランティアをお招きするなどの社会的交流や、調理活動なども多く取り入れており、御利用者様の活動への参加も積極的に取り組んでいます。

<リハビリテーションに関する連絡先>

カーサ岩沼デイサービスセンターひだまり
 住所：〒989-2432 岩沼市中央 3 丁目 7-16
 電話：0223-22-5009

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信 第 10 号

(平成 29 年 11 月発行)

発行元：
 宮城県仙台保健福祉事務所
 健康づくり支援班
 022-363-5503 (直通)

Q にお答えします

Q. 御利用者様が勝手に動き、歩き出してしまった際の声かけとして、「どこへ行かれますか？」や「立ってはいけませんよ」というものが考えられますが、いずれも言葉の拘束に該当してしまいます。拘束とならないように貴施設ではどのように対応や声かけをされていますか？また、拘束について注意している点があれば教えてください。

(リハビリサロンさくら)

A. 私どもの考えとしては、『拘束』として動きを制限する言葉ではなく、コミュニケーションの一環としてお話しする気持ちで声掛けすることを心掛けております。誰もが何らかの目的のために、立ち上がったたり、歩き出したりといった行動をします。その際、御利用者様にその目的を聞く為、「どうしましたか？」、「何かありましたか？」と声掛けし、時には「どちらに行かれますか？」などの選択肢を与える声掛けを行っております。その方によって、声掛けの仕方は千差万別です。信頼関係が重要になる為、常日頃からのコミュニケーションを大切にして、御利用者様の気持ちを十分配慮するよう心掛けております。

バトンでつなごう
 一問一答 ～紹介リレー～



次回：岩沼市健康福祉部社会福祉課
 さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. どのような集団体操を行っていますか。また、集団体操で気を付けていること・工夫していることがあれば教えてください。

「頑張ろう 夢を叶える この一歩」(介護職)

【解説】「千里の道も一歩から」を引用しましたが、頑張つてリハビリすること
 で、個人の夢が達成します。最初の一歩がとても大切になると思う。

「『歩いたよ！』笑顔で報告 七千歩」(理学療法士)

【解説】最初は数百歩でしたが、徐々に歩数が増え、行ける場所も増えてきたこ
 とを報告してくれた様子。

「リハビリで 歩くの好きだと 気づいたよ」(通所利用者様)

【解説】これまで歩くことが億劫ですぐ車椅子を使っていた方が、練習を行うこ
 とに歩くことが楽しくなり、「歩くの好きだわ」と感じた一旬。

リハビリ川柳